

コード	403030101
記入日	H25.6.7

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	松竹 昭典

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	新上五島町商工会補助事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40303	基本事業名称	商工会の育成強化	目コード	2
事務事業コード	4030301	事務事業名称	商工振興事業費	細目コード	139
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町内商工業従事者会員数	(対象2)	(対象指標1) 689人 (H24会員数)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・商工業の発展のために、商工会に補助金を交付した。 (補助事業内容) ・経営改善普及事業 →指導員 5人 →補助額 11,000千円 ・地域総合振興事業 →5事業 →補助金 3,116千円	***** 補助金交付件数	***** 1件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	補助金の申請に対し、事業内容を精査し補助金を交付した。			
		***** 事業実施件数	***** 5件	***** 100%	***** 事業実施件数÷ 事業計画件数	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	経営指導員の設置を中心に事業を計画し、予定通り実施した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・地域経済発展の牽引役である商工会の運営費及び各種事業に補助金を交付することで、商工会の会員数を確保するとともに、町内商工業の振興を図ることを目的としている。	***** 会員数	***** 689人	***** 97.9%	***** 会員数÷ 前年度会員数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	前年度会員数704人を確保することを目標としていたが、島内人口の流出等により15人減少した。			
		***** 商工業の振興	***** -	***** -	***** -	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	商工会の運営費及び各事業に補助金を交付することにより、商工会の会員数を確保するとともに商工業の振興が図られる。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	6	6	5	1	1					
	② 件	5	5	59	5	5					
成果指標	① 人	704	689	704	704	689					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	127,846	127,846	113,030	14,816	14,816					
直接事業費 A	千円	122,246	122,246	108,130	14,116	14,116					
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	127,846	127,846	113,030	14,816	14,816					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	商工業の振興のために必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	商工会で実施されている諸事業は、商店の活性化など一定の効果を上げている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地がありますか。	● ある ない	理 由	即効性がある事業が期待されている。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	交付要綱による補助である。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	事業費及び人件費は適切である。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	都心部への積極的な出店が見られるなど充実が図られている。
	今後、課題に向けた改善策	これまでの事業を継続的にいき、更に、『五島』というイメージを向上させる事業が期待される。

2 次 評 価	商工業については、島外への消費の流出をくい止めるとともに、交流人口の流入による消費拡大を目指す必要がある。そのためにもどのようにして事業の充実を図り、地域の商工業の振興・活性化に繋げていくのか関係機関と協議していくこと。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。